

東京都立練馬工科高等学校

教科		国語					科目	現代の国語			
クラス又は班		1年1組	1年2組	1年3組	1年4組	1年5組	単位数	使用教科書・教材			
担当者							3	新編言語文化(第一学習社)・国語便覧(数研) アシスト常用漢字(数研)			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】			【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】				
中学の範囲を学びなおし、職業人として必要な国語の知識や技能を身につけることができる。			「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。				言葉を通して積極的に他者や社会にかかわったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとする主として、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。				
学期	(月)	指導項目	指導内容				評価基準			予定時数	
							知	思	態		
1学期	4	クラス分けテスト 随筆『十六歳のとき』 漢字の読み書き	筆者の考えを理解し、人生の岐路について、自分事として考える。				○	○	○	36	
	5	随筆『十六歳のとき』 手紙の書き方 漢字の読み書き	漢字検定7級6級の読み書き。 実生活で必要になる、手紙の書き方を学ぶ。				○	○	○		
	6	評論『言語としてのピクトグラム』 漢字の読み書き	筆者の論手を理解し、自分の考えを広げる。				○	○	○		
	7	スピーチの仕方 漢字の読み書き 確認テスト	インターンシップに向けて、自分の気持ちを相手に伝えるように話す方法を学ぶ。				○	○	○		
2学期	9	随想『人はなぜ仕事をするのか』 漢字の読み書き	筆者の考えを理解し、職業人として生きていく自身の考えを広げる。 漢字検定5級の読み書き。				○	○	○	39	
	10	相手に伝わる案内をする 漢字の読み書き	相手の立場に立って、わかりやすい説明となるように文章を構成する。				○	○	○		
	11	評論『「弱いロボット」の誕生』 漢字の読み書き	筆者の考えを理解し、社会についての自身の見識を広げる。				○	○	○		
	12	確認テスト									
3学期	1	随想『ナマケモノになる』 漢字の読み書き	筆者の考えを理解し、自身の変化を他者に伝える。				○	○	○	30	
	2	随想『ナマケモノになる』 漢字の読み書き	筆者の考えを理解し、自身の変化を他者に伝える。				○	○	○		
	3	確認テスト					○	○	○		
							年間予定授業時間数			105	
評価の方法		1、授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2、提出物(授業ワークシートの提出と取り組み状況) 3、小テスト 4、確認テスト(学期に3回実施) 以上の4項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。									
備考		習熟度による指導の実施。年度当初にテストを行い、Bクラス的人数をAクラスよりも少なくする。									

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	○地理的事象についての基本知識を獲得しているか ○資料から適切な情報を読み取ることができるか ○地理的事象に関して、知識を基に考察し、自らの考えを表現できるか ○授業、課題に対して、積極的・主体的に取り組む姿勢を持っているか ○出席状況
備 考	※ 1 学年では、特に、授業を通して新しいことを知る楽しさを感じられるよう留意する。

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい(目標)		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
小中学校で学んだ基本的な計算方法を確実に習得する。数と式の基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数と式を多面的にみたり、目的に応じて適切に変形したりできるようにする。 解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的根拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

学期	(月)	指 導 項 目	指 導 内 容	評価基準			予 定 時 数
				知	思	態	
1 学 期	4	計算順序	加減乗除やかっこのついた式の計算順序	○	○	○	36
		小数・分数の計算・正負の数	小数・分数の加減乗除、正負の数の四則演算				
		整式	単項式・多項式				
	5	累乗計算・いろいろな計算	累乗根・符号・指数法則	○	○	○	
		同類項・カッコのついた式の計算	同類項、降べきの順				
		多項式の加法・減法	同類項、降べきの順				
	6	単項式・多項式の計算	乗法・除法	○	○	○	
		乗法公式・因数分解	乗法公式・因数分解公式				
		多項式の乗法	指数法則				
	7	平方根とその計算	根号を含む式の計算、乗法公式の利用、分母の有理化	○	○	○	
いろいろな方程式・不等式		1次方程式・連立方程式・2次方程式・1次不等式					
2 学 期	9	因数分解	因数分解の公式	○	○	○	40
		いろいろな因数分解	置き換えによる因数分解				
			次数の低い文字に着目				
	10	実数	実数の分類	○	○	○	
		平方根とその計算	平方根の計算法則				
		平方根とその計算	根号を含む式の計算、乗法公式の利用、分母の有理化				
	11	一次方程式	一次方程式の解法	○	○	○	
		不等式	不等号、不等式の解、数直線				
			不等式の性質、一次不等式の解き方、文章題、連立不等式				
	12	不等式	不等式の応用問題	○	○	○	
3 学 期	1	データの整理	度数分布表、ヒストグラム、	○	○	○	29
		データの代表値	平均値、最頻値、中央値				
		四分位数	四分位数、四分位範囲、四分位偏差				
	2	箱ひげ図	箱ひげ図、箱ひげ図とヒストグラム、外れ値	○	○	○	
		分散と標準偏差	偏差、分散、標準偏差				
	3	分散と標準偏差	偏差、分散、標準偏差	○	○	○	
		1年間の総復習					

評価の方法	【知識・技能】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト 【思考力・判断力・表現力】中間確認テスト、期末確認テスト、学年末確認テスト、提出物、授業態度 【主体的に学習に取り組む態度】出欠席、授業態度、振り返りシート 観点別評価は各項目の点数によって評価する。 評定は、各項目の合計点数によって評価する。
備考	年度当初に基礎学力診断テストを行い、科で基準を設けたうえで、Bクラスの人数が8人程度になるように分ける。この年間授業計画はABクラス共通である。

東京都立練馬工科高等学校

教科		理科				科目	科学と人間生活				
クラス又は班		11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材			
担当者						2	実教出版「科学と人間生活」 実教出版「高校化学基礎カラーノート」				
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】			【主体的に学習に取り組む態度等】				
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。			物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。				
学期	(月)	指導項目		指導内容			評価基準			予定時数	
							知	思	態		
1 学期	4	科学と技術の発展		生活の中の様々な物質・金属 【実験】ガスバーナー			○	○	○	24	
	5	物質の成分 物質の構成元素		混合物の分離と精製・物質の三態 【実験】混合物の分離1			○	○	○		
	6	物質の成分 物質の構成元素		化合物と単体・成分元素の確認 【実験】混合物の分離2			○	○	○		
	7	物質の成分 物質の構成元素		確認テスト 原子の構造 【実験】炎色反応			○	○	○		
2 学期	9	物質の構成粒子		原子と原子の構成、同位体 電子配置と価電子 【実験】金属の性質			○	○	○	26	
	10	物質の構成粒子 物質と化学結合		元素の周期表 金属結合・イオン 【実習】イオンカードの作成			○	○	○		
	11	物質と化学結合		イオン結合とイオン結晶 共有結合 【実験】メッキと合金			○	○	○		
	12	物質と化学結合		確認テスト			○	○	○		
3 学期	1	物質と化学結合		共有結合・構造式・分子の形 プラスチック 【実験】合成高分子			○	○	○	20	
	2	食品と衣料 人の生命現象とDNA		糖類・アミノ酸とタンパク質 DNAの構造 【実験】天然高分子			○	○	○		
	3			確認テスト			○	○	○		
							年間予定授業時間数			70	
評価の方法		1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物等) 2.実験、実習(実験の取り組み、課題の出来ばえ、創意工夫等) 3.提出物(授業プリント、ノート、実験レポートの提出と取り組み状況) 4.小テスト(単元ごとに実施) 5.確認テスト(学期に3回実施)									
備考											

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・主体的に学習に取り組む態度等 以上の点を総合的に見て評価する。
備考	

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		保健体育					科目	保健			
クラス又は班		11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材			
担当者							1	現代高等保健体育			
教科・科目のねらい(目標)											
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】			
知識・技能を問う問題について、おおむね解答することができる。学習した内容の知識・技能についてよく書き出している。学習した内容の知識・技能についてよく発言している。				思考・判断・表現を問う問題に対して積極的に取り組み、おおむね解答できる。自分の考えをよく書き出したり、まとめることができる。自分の考えをよく発言したりまとめることができる。				欠席・遅刻なく授業に参加している。ルールを守り、話や指示をよく聞きながらも、積極的に自分の意見を発言し、周りの生徒と協力することができる。授業を振り返り、客観的に取り組みを見直すことができる。			
学期	(月)	指導項目			指導内容			評価基準			予定時数
								知	思	態	
1 学期	4	現代社会と健康	オリエンテーション			○	○	○			
			健康の考え方と成り立ち								
			私たちの健康のすがた								
	5	現代社会と健康	生活習慣病の予防と回復			○	○	○	3		
			がんの原因と予防								
			がんの治療と回復								
	6	現代社会と健康	運動と健康			○	○	○	3		
			食事と健康								
			休養・睡眠と健康								
	7	現代社会と健康	確認テスト対策			○	○	○	4		
喫煙と健康											
飲酒と健康											
2 学期	9	現代社会と健康	薬物乱用と健康			○	○	○	3		
			精神疾患の特徴								
			精神疾患の予防								
	10	現代社会と健康	精神疾患からの回復			○	○	○	3		
			現代の感染症								
			感染症の予防								
	11	現代社会と健康	性感染症・エイズとその予防			○	○	○	3		
			健康に関する意思決・行動選択								
			健康に関する環境づくり								
	12	現代社会と健康	確認テスト対策			○	○	○	4		
確認テスト											
答案返却											
3 学期	1	安全な社会生活	事故の現状と発生要因			○	○	○	3		
			安全な社会の形成								
			交通における安全								
	2	安全な社会生活	応急手当の意義とその基本			○	○	○	3		
			日常的な応急手当								
			心肺蘇生法								
	3	安全な社会生活	確認テスト対策			○	○	○	3		
			確認テスト								
答案返却											
							年間予定授業時間数		35		
評価の方法		・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力 ・主体的に学習に取り組む態度等 ・各学期確認テスト 以上の点を総合的に見て評価する。									
備考											

東京都立練馬工科高等学校

教科・科目のねらい（目標）

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
----------	----------------	------------------

學期	(月)	指 導 項 目	指 導 內 容	評 估 基 準			予 定 時 數
				知	思	態	

	4	Get Ready!	・アルファベットやClassroom English について ・挨拶や基本的な指示に対する適切な答え方	○	○	○	
--	---	------------	---	---	---	---	--

1	5	Lesson1 Colors of Spring	・be動詞・一般動詞の現在形 ・色／春について、自分の考えを話して伝え合う ・Listening test/Speaking test	○	○	○
---	---	--------------------------	---	---	---	---

3	1	Lesson5 We Are Part of Nature	・不定詞 ・動物と自然について、自分の考えを話して伝え合う	○	○	○	25
---	---	-------------------------------	--	---	---	---	----

	年間予定授業時間数	105
--	-----------	-----

評価の方法	①Listening test、Reading test、Speaking test、確認テスト ②授業態度 ③課題提出 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
-------	---

備考 備

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.主体的に取り組む態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装、報告書の内容提出状況等) 2.知識・技術(到達度、作品や課題の出来ばえ、創意工夫) 3.思考・判断・表現(創意工夫、学習意欲、集中度、発表意欲) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科		キャリア技術科					科目	製 図		
クラス又は班		11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材		
担 当 者							2	製図		
教科・科目のねらい(目標)										
【知識及び技能】				【思考力、判断力、表現力等】				【主体的に学習に取り組む態度等】		
製図に関する事象について、基本的な概念や基礎的な知識を理解し、読図・作図の技能を身につけている。				製図に関する事象について、論理的に考えたり、分析したりして、総合的に判断できる。また、その過程や結果および考え方を的確に表現できる。				製図に関する事象について関心をもち、主体的・協働的に取り組む態度を身につけようとする。		
学期	(月)	指 導 項 目		指 導 内 容			評価基準			予 定 時 数
							知	思	態	
1 学 期	4	製図を学ぶにあたって		製図の役割・歴史について			○	○	○	24
		製図用具		製図用具の名称、使い方について			○	○	○	
	5	図面に用いる文字		図面に用いる文字や記号の書き方について			○	○	○	
				基礎製図練習ノート等を用いた練習			○	○	○	
	6	線		線の種類と使い方について			○	○	○	
				基礎製図練習ノート等を用いた練習			○	○	○	
	7	平面図形の書き方		基礎的な図の書き方			○	○	○	
				直線と円弧を用いた線のつなぎ方			○	○	○	
2 学 期	9	基礎製図検定に向けた問題解決		基礎製図検定問題(立体図(等角図)から投影図)			○	○	○	28
				基礎製図検定問題(立体図(等角図)から投影図)			○	○	○	
	10	基礎製図検定に向けた問題解決		基礎製図検定問題(投影図から立体図(等角図))			○	○	○	
				基礎製図検定問題(投影図から立体図(等角図))			○	○	○	
	11	基礎製図検定に向けた問題解決		基礎製図検定問題(投影図への不足線追記)			○	○	○	
				基礎製図検定問題(投影図への不足線追記)			○	○	○	
	12	基礎製図検定に向けた問題解決		基礎製図検定問題(断面図(片側断面図)の書き方)			○	○	○	
3 学 期	1	ケント紙を使用した製図法		ケント紙に文字・数字・線を書く練習			○	○	○	18
	2	立体を平面で表す方法		投影法の練習(製図用具によるかき方)			○	○	○	
	3	立体を平面で表す方法		等角図の練習(製図用具によるかき方)			○	○	○	

評価の方法	1.知識・技能(到達度、作品や課題の完成度など) 2.思考・判断・表現(作図中の用具の選択、創意工夫など) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(出欠・遅刻の状況、集中度、忘れ物、提出物など)
備 考	※1クラス2展開(小人数)で授業を行う

令和7年度 年間授業計画

東京都立練馬工科高等学校

教科	キャリア技術科					科目	工業情報数理
クラス又は班	11	12	13	14	15	単位数	使用教科書・教材
担当者						3	工業情報数理

教科・科目のねらい(目標)

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度等】
情報技術に関する基礎的な知識と技術を理解し、情報技術を利用した情報の収集・処理・活用のために必要な技術を身につけている。	諸問題の解決をめざしてみずから思考を深め、問題解決方法を適切に判断する能力を身につけており、情報技術を活用して情報を処理・表現することができる。	情報技術に関する基礎的な知識と技術に関心を持ち、その習得に向けて意欲的に取り組むとともに、実際に活用しようとする創造的・実践的な態度を身につけている。

学期	(月)	指 導 項 目	指 導 内 容	評価基準			予 定 時 数
				知	思	態	
1 学 期	4	産業社会と情報技術 コンピュータの基本操作	情報と生活、コンピュータの特徴 情報化と発展と産業社会 情報化社会の権利とモラル、情報のセキュリティ対策 パソコン・タブレットの基礎知識	○	○	○	35
	5						
	6						
	7	確認テスト コンピュータの基本操作	1学期確認テスト(1学期学習した内容から出題) 答案返却 パソコン・タブレットの基本知識				
2 学 期	9	ハードウェア プログラミングの基礎 数理処理 アプリケーションの基本操 作	単位と数理処理 実験と数理処理 プログラミング言語から流れ図とアルゴリズムまで データの表し方(論理回路) データの表し方(基数変換) 日本語ワープロ検定3・4級の受験指導	○	○	○	35
	10						
	11						
	12	確認テスト アプリケーションの基本操作	2学期確認テスト(1学期学習した内容から出題) 答案返却 日本語ワープロ検定3・4級の受験指導				
3 学 期	1	プログラミングの基礎 ハードウェア アプリケーションの基本操 作	プログラミング 論理回路の基礎 文書作成・表計算ソフトの扱い方	○	○	○	35
	2						
	3	学期末確認テスト(一年間学習した内容から出題)					

評価の方法	1.知識・技能(学期末確認テスト) 2.思考・判断・表現(小テスト) 3.主体的な学習に取り組む意欲・態度(提出物)
備考	※1クラス2展開で授業(座学)を行う ※パソコン・タブレットの使用方法(実技)は全員で授業を行う

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	1.授業態度(出欠・遅刻の状況、意欲、集中度、忘れ物、服装等) 2.技能・技術(到達度、課題の克服、創意工夫) 3.報告書(内容、提出状況) 以上の3項目について総合的に判断し、評価の観点に従い評価する。
備考	

東京都立練馬工科高等学校

評価の方法	○授業に対して積極的に取り組んでいる ○外部講師や企業の方と接する際の礼儀作法を身につけている。 ○資料の中からの的確に情報を収集することができる。 ○自身の考えを指定された様式で書き表すことができる。
備考	朝学習として、月曜日から金曜日の朝10分間授業(週5回)を含む。